



亀山中学校 学校運営協議会 だより(No.2)

発行:学校運営協議会事務局 令和5年7月

連絡先 亀山中学校 Tel 82-0354

☆第二回学校運営協議会が開催されました

新学期がスタートし早3ヶ月ほど経過しました。コロナが5類に移行したこともあり修学旅行、体育祭、ゲストティチャーをお招きしての竹あかりの作成など学校の様々な行事が戻ってきました。そこで、今回は、運営委員のみなさんに授業参観していただき日頃の子どもの姿、教職員の姿など学校の実態を知っていただく機会をもうけました。その後、会議の中で皆さんが感じられたことのご意見やご感想などきかせてもらいました。

また、今回は、亀山市会議員 草川卓也氏、森英之氏より傍聴のご希望がありご参加いただきました。



今回の協議事項

- 授業参観の様子を見ての質疑・感想
- 6月6日実施の体育祭を見ての感想
- 望まれる(期待される)中学生像
- 意見交流
- その他

●授業参観の様子を見ての質疑・感想

・一クラスの人数が多すぎると感じた。
机の面積が小さいのでタブレット、教科書、ノートを開くスペースがなく引き出しも小さいので置く場所がなくて床面に放置されている様子が気になった。

- ・モニターを見ながら授業されていて板書の量が減っているように思う。
→プリント、モニター、タブレットを使い分けして授業しているので書く量は減っているがメリハリをつけて授業を行っている。
- 自分の思考を整理するためにも書くことは、重要だと考えていると三重大学六角先生よりアドバイスをいただいた。
- ・マスクをしている生徒が多い印象があった。
→テスト前に急にコロナが増え出したタイミングだったことで多かったが、少しずつ減っている感覚がある。

●6月6日実施の体育祭を見ての感想

- ・保護者の方もたくさん来ていただき今までの体育祭に近い印象を受けた。
- ・活気があり子ども一人ひとりが発揮する、生きる力の強さを見たような気がした。

- ・みんなの声が出て盛り上がっていてすごく楽しそうだなと感じた。

●望まれる(期待される)中学生像

- ・「他者を思い自己を思う」という学校の教育目標のように。
- ・地域で活躍する子であって欲しいなと思っている。

●意見交流

・コロナ禍をきっかけに学校へ来れない子どもが急増しているときいたことがある。亀中でもそのようなことはあるのか？

→亀山市小中学校の不登校の生徒が150人、学校の課題である。個別指導、小集団の活動等ステップをふみ、学びを保証している。

- ・個別指導が増えた場合の教員の補充について

→学習生活相談員という形をやりくりしながら対応している。

- ・担任の負担を減らすためにも養護教諭を増員してはどうか

→養護教諭は、保健室の運営に注力してもらっており別室登校の生徒の対応は、持たないようにしている。

●その他

◆ 今後の学校行事等について

・コロナ禍で職場体験実習が実施できなかった3年生を対象に三重県技能士会より亀山中学校に出前授業を9月に実施してもらえることとなった。

大平PTA会長には、大変ご尽力いただきました。ありがとうございます。

◆ ご紹介



6月4日(日)に菖蒲園で開催されました『花しょうぶ』まつりに吹奏楽部の皆さんがボランティアで参加し会場を盛り上げて下さいました。

林家菊丸落語講演会



6月12日(月)第77回文化庁芸術祭賞大賞を受賞された亀山市の文化大使でもある林家菊丸さんにメッセージをこめてご講演いただきました。

…日々の活動は、学校だよりでお伝えしていきます…

次回 第2回学校運営協議会は、11月中旬頃の開催を予定しています

学校支援ボランティア募集



亀山中学校では、地域に開かれた学校づくりの一環として、学校支援ボランティアの方々に協力いただきながら、学校教育の一層の充実させることを目指しております。

地域や保護者のみなさまの豊富な経験や知恵、様々な特技・趣味等、地域の教育力を積極的に活用させていただきたいと考えております。

ご興味のある方は、ご連絡をお待ちしております。

